

色彩科学系5研究会合同研究発表会

(画像色彩研究会, 感性・データ科学・コスメティクス研究会, 視覚情報基礎研究会, 色覚研究会, 測色研究会)

優秀発表奨励賞受賞者挨拶

Greeting Message from the Winners of Encouraging Prize

「発表奨励賞受賞に際して」

工藤 晃
(千葉大学工学部)



この度は、日本色彩学会発表奨励賞に選出いただき、誠に光栄に存じます。また、今回の発表「物体の形状と照明の拡散度が質感の再現性に与える影響」の研究を支えてくださいました、溝上陽子先生、佐藤弘美先生、土橋宜典先生、実験に協力してくださった研究室の皆様がこの場を借りて、心よりお礼申し上げます。

LEDやOLEDなどの固体光源の研究が進む昨今、照明の特性や照射方法による質感の知覚の齟齬を無くすことは重要であると考えられます。また現実世界だけでなく、WEB会議やVR環境といった、画面上での質感知覚に関して課題になることもあるでしょう。そこで本研究では、照明の「拡散性」と物体の「形状」の2要素に着目し、金、プラスチック、ラフプラスチック

クの3材質において、質感の再現性にどのような影響を与えるのかを研究しました。結果として、全材質で再現性は中拡散度下では高く、低・高拡散度下では低くなる傾向がありました。一方、形状では金のみ凹凸密度が大きくなるに従い、再現性が高くなる結果が示されました。今後の課題としては材質による物理要因の影響力を数値化できないか検討中です。また、学会発表内で頂いた、実験手法や評価項目に関する貴重なご意見、ご質問を元に、照明と質感の関係を探求していきたいと考えております。

初めての色彩学会への参加で本賞を頂けたこと、大変嬉しく思います。この賞は研究室の皆様のご指導、ご鞭撻のおかげであると切実に感じております。自身の研究について熟考する場になったことは当然のことながら、皆様の発表内容に刺激を受け、色彩に関する幅広い学問について知見が広がる貴重な機会になりました。この賞を足掛かりに、今後もより一層研究に励んで参りたいと思います。